

# 大学水泳部（競泳）の活動状況調査に関するアンケート

—大学の志望動機に注目して—

前之園 将博（競技スポーツ学科 コーチングコース）

指導教員 白木 孝尚

キーワード：大学水泳 シード校 満足度

## 1. 緒言

現在の大学水泳界は、関東の大学が圧倒的に強い。今年度の日本学生選手権においても団体上位8校の内男子は6校、女子は5校が関東の大学であった。

大学進学は、高校に比べ学部や地域性など選択する要因が多い。水泳部がある大学は様々な地域にあり、チームの特徴も様々であるが、競技レベルの高い学生は限られた大学に集中している傾向が強い。

そこで本研究は大学水泳部に所属している学生を対象に、練習や環境の状況と満足度、さらには大学を志望した理由をアンケートにより調査し、大学水泳の競技レベルに与える要因を検討することを目的とした。

## 2. 研究方法

今年度の日本学生選手権に出場した大学にアンケートを依頼し、協力の承諾を得た12校の大学水泳部（競泳）に所属する学生を対象とした（計294名）。

回収したアンケートから全大学の集計結果を示し、詳細な検討を行うためにシード校（116名）、シード校以外の関東にある大学（以下関東77名）、シード校以外の関西にある大学（以下関西70名）のグループに分けた。

アンケートの内容は学生のプロフィール、練習や環境、チームの状況やそれぞれの満足度、大学の志望動機や不満点、現在の活動エフォートとした。

## 3. 結果と考察

シード校に入学する学生の89.7%がスポーツ推薦で大学に入学していた。

シード校に入学している学生の52.6%は高校時に全国大会決勝進出以上の実績を持っており、特に越境入学者の競技レベルが高かった。関東、関西で高校時に全国大会決勝進出以上の実績を残した学生は、それぞれ24.7%、15.7%であった。

関東と関西の学生に比べ、シード校に入学する学生は志望理由に、水泳に関することを多くあげており、学業の内容ではなく、水泳部のレベルを考慮して志望校を決定していた（表1）。そのため、シード校の学生は水泳部の活動に対する期待が大きいと考えられた。

表1 グループ別の志望理由上位3つ

志望理由	シード校	関東	関西
1位	チームのレベル	学部学科	学部学科
2位	設備	指導者	学力のレベル
3位	指導者	チームのレベル	指導者

チーム、設備、練習の満足度が一番高かったのはシード校であった（表2）。これらの満足度が高かったことから、シード校が入学した学生の期待に応えるような努力をしていることが示唆された。

表2 グループ別満足度平均

	シード校	関東	関西
設備満足度	3.88±0.94	3.34±1.09	3.26±1.01
練習満足度	3.87±0.95	3.49±0.84	3.26±1.01
チーム満足度	4.27±0.88	3.62±0.95	3.59±0.87

## 4. まとめ

本研究において競技力の高い大学の特徴として以下のことが明らかになった。①競技力の高い学生が多く入学していた。②設備（プールと寮）が整っていた。③入学する学生は大学で学べる学業の内容ではなく、水泳部のレベルを考慮して志望校を決定していた。④入学した学生の期待に応えるような努力を行っていた。

引用・参考文献

1) 榎木繁男 志望大学の決定過程と入学後の満足度 麻布獣医科大学教養課程研究紀要(11), p101-111, 1978

2) 三谷悟・吉村雅文・久保田洋一・木村博人・太田雅夫・須田洋 大学サッカー部員の意識の関する一考察 日本体育学会大会号(41B), 684, 1990-09-10